

## 目次

- (1) バリアフリー推進ネットワークからのお知らせ
  - 交通バリアフリー基本構想策定セミナーの実施(5月29日：大阪、6月19日：東京)
  - 交通バリアフリー推進セミナー報告書を作成
- (2) ネットワーク参加団体の活動報告
  - 港区バリアフリータウンマップを作成
  - バリアフリー体験、交流会 参加者募集(京都府北部の福祉の街づくり協会やまびこ)
- (3) エコモの活動報告
  - 視覚障害者の音による移動支援方策研究会のパブリックコメント実施(4月30日～5月29日)
  - 中学生エコモ訪問(4月24日、6月7日)
  - 案内用図記号 日本タイポグラフィ年鑑2002 大賞受賞
  - らくらくお出かけネット
  - 公共交通ターミナルのバリアフリー度評価に関する簡易評価マニュアルを公開
- (4) 行政の活動報告
  - 移動円滑化のために必要な旅客施設及び車両等の構造及び設備に関する基準の一部改正に関する御意見の募集について
  - 交通バリアフリー法基本構想策定状況
- (5) 各種催し物のお知らせ
  - 特別フォーラム in 東京
  - 第5回国際福祉健康産業展 ウェルフェア2002
  - 第25回土木計画学研究発表会(春)大会
  - 第5回日本福祉のまちづくり学会
  - 第6回DPI世界会議
  - 国際ユニバーサルデザイン会議2002
- (6) その他
  - 書籍に関して
  - 記事募集中
  - お願い(必ずお読みください。)
    - ・転送先について
    - ・送付先について

## エッセイ

～ 1 + 1 は？ (協働とネットワーク) ～

---

(1) バリアフリー推進ネットワークからのお知らせ

交通バリアフリー基本構想策定セミナーの実施(5月29日:大阪、6月19日:東京)

交通バリアフリー基本構想策定セミナー(主催:土木学会高齢者小委員会、日本福祉のまちづくり学会、他)を、大阪(5月29日)、東京(6月19日)にて開催致します。

下記、2会場のそれぞれの案内をお送り致しますので、ご覧いただき、奮ってご参加いただけますよう、お願い致します。

-----  
「志高い交通バリアフリーを目指して ~この1年の成果を先進事例から学ぶ~」

交通バリアフリー法が施行され、各自治体で基本構想を策定する動きが活発になり約1年が経過しました。この間、全国で様々な構想が計画され、各々の事例がようやく見られる段階となりました。そこで、地方自治体やコンサルタントがよりよい計画をつくる参考となりますよう、以下のセミナーを企画しました。是非ともご参加下さいませようお願い致します。(事例として発表する自治体につきましては予定です。)

- 記 -

主催:土木学会土木計画学研究委員会

「高齢社会における交通システム整備の体系に関する研究小委員会」

日本福祉のまちづくり学会

交通バリアフリー推進支援連絡協議会(バリアフリー推進ネットワーク)

交通エコロジー・モビリティ財団

後援:国土交通省(予定)

(1)大阪セミナー -----

日時:2002年5月29日(水) 午後1時15分~4時45分

場所:福島区民センター(TEL:06-6468-1771) <住所> 大阪市福島区吉野3-17-23

<最寄駅> 地下鉄千日前線野田阪神駅(徒歩5分), 阪神電車野田駅(徒歩5分)

JR東西線野田駅(徒歩6分), JR環状線野田駅(徒歩10分)

(詳細地図) <http://www.city.osaka.jp/shimin/01/sisetu/index.html>

内容 12:45~ 受付開始

1:15~1:20 主催者の挨拶

1:20~1:40 基本構想の基本的なスタンス 三星昭宏(近畿大学)

1:40~2:00 藤沢市 住民参加型道づくりの原型から出発

2:00~2:20 荒川区 自治体自らの力でつくった

2:20~2:40 守山市 市民全員参加を目指して

2:40~3:00 堺市 庁内の連携力を発揮

3:00~3:20 ~休憩~

3:20~3:40 総括コメント 新田保次(大阪大学)

3:40~4:45 討論 コーディネイト 藤村安則(中央復権コンサルタンツ)

パネリスト(予定)

児玉健(日建設計)、石塚裕子(八千代エンジニアリング)、

自治体(検討中)、太田秀也(国土交通省)

参加費:2,000円(当日、受付にて現金でお支払い下さい。領収書をお渡しします。)

申込方法:(1)氏名、(2)所属と部署、(3)住所、(4)参加会場(大阪or東京)、(5)電話とファックス、(6)メールのアドレス、をご記入の上、メール、FAX、手紙等で下記に5月20日までにお申し込みください。

(2)東京セミナー -----

日時:2002年6月19日(水) 午後1時30分~4時45分

場所:麻布区民センター <住所> 東京都港区六本木5-16-45(TEL03-3583-5487)

<最寄駅> 六本木駅(日比谷線・大江戸線)下車出口3番より徒歩6分

麻布十番駅(南北線・大江戸線)下車出口7番より徒歩14分

(詳細地図) <http://www.kissport.or.jp/sisetu/azabu/azabu.html>

内容 1:00～ 受付開始  
1:30～1:35 主催者の挨拶  
1:35～1:55 基本構想の基本的なスタンス 秋山哲男(東京都立大学)  
1:55～2:15 藤沢市 住民参加型道づくりの原型から出発  
2:15～2:35 荒川区 自治体自らの力でつくった  
2:35～2:55 守山市 市民全員参加を目指して  
2:55～3:15 堺市 庁内の連携力を発揮  
3:15～3:30 ~休憩~  
3:30～3:50 総括コメント 三星昭宏(近畿大学)  
3:50～4:45 討論 コーディネイト 山田稔(茨城大学)  
パネリスト(予定)  
大島明(国際航業)、本田恵子(交通エコモ財団)、  
自治体(検討中)、太田秀也(国土交通省)

参加費: 2,000 円( 事前に下記普通口座までお振り込みお願い致します。)

三井住友銀行 本店公務部 (普)口座番号 3015618

名義 交通エコロジー・モビリティ財団

申込方法: (1)氏名、(2)所属と部署、(3)住所、(4)参加会場(大阪 or 東京)、(5)電話とファックス、(6)メールのアドレス、をご記入の上、メール、FAX、手紙等で下記に6月10日までにお申し込みください。(上記の参加費振り込みもお願い致します。)なお、座席数の関係から先着200名までとさせていただきます。

申込先: 交通エコロジー・モビリティ財団 藤田

住所: 東京都千代田区麹町5-7 秀和紀尾井町 TBR ビル 808

電話: 03-3221-6673、Fax:03-3221-6674 E-mail: [m-fujita@ecomor.jp](mailto:m-fujita@ecomor.jp)

交通バリアフリー推進セミナー報告書を作成

先月号でもお知らせしましたが、昨年1年間全国10カ所で開催しました、交通バリアフリー推進セミナーの報告書を作成しました。ご希望の方は、ご連絡ください。

## (2) ネットワーク参加団体の活動報告

港区バリアフリータウンマップを作成

港区では、この度、港区社会福祉協議会ボランティアセンターの協力を得て「港区バリアフリータウンマップ」を作成し、港区のホームページに掲載するとともに、同じ内容の冊子も無料で配布しています。これまでの経緯は、4月29日(月)19:30~20:00に「人間ゆうゆう」という番組(NHK教育TV)で放映されました。

しかし、まだ、駅の情報が出ていないようですので、2002年度は区内の駅を調査し、アクセシビリティガイドに載せて、港区のHPからリンクを張る予定だそうです。

<http://www.minato-cosw.net/syakyou/townmap/about.html>

次号で、作成までの経緯を掲載させて頂く予定です。

バリアフリー体験、交流会 参加者募集(京都府北部の福祉の街づくり協会やまびこ)

全国にないバリアフリーの整った建物で、バリアフリーを体験し、交流会をしていきたいと考えています。

また、点字の美術作品を実際に触れて解るような場所もオープンする予定です。見学を兼ねて交流会を開催したいと考えています。

車いすの方お一人に、介助の方が1人でも2人でも参加希望される方は、ハガキでご応募ください。

締め切りは6月20日(木)とします。

日程：7月7日(日)～8日(月) 1泊2日  
場所：弥栄町スイス村宿泊施設 <住所>京都府竹野郡弥栄町野中  
人数：参加される方、介助の方の人数をご記入ください。  
参加費：未定  
申込先：お問い合わせの際は、必ずハガキでお問い合わせください。  
〒625-0021 京都府舞鶴市字安岡小字中山 1076-2  
京都府北部福祉の街づくり協会やまびこ 菖蒲谷 賢治氏

## (2) エコモの活動報告

視覚障害者の音による移動支援方策研究会のパブリックコメント実施(4月30日～5月29日)

昨年の7月より、国土交通省の委託を受け、「旅客施設における音による移動支援方策に関する研究会」を通して、視覚障害者の音による移動支援方策ガイドライン作成のために調査を行っております。(委員長：秋山哲男東京都立大学大学院教授)

同ガイドラインは、視覚障害者の音案内のニーズと優先度について整理した上で、音声・音響案内についての基本的な考え方を示すと共に、整備に当たって望ましい内容を示すものです。

上記研究会において、同ガイドラインの原案が作成されたところであり、ガイドラインについてより多くの方々のご意見を反映させるよう、当財団のホームページに公開し、ガイドラインの原案に関するご意見を広く募集することとなりました。募集期間は、4月30日(木)～5月29日(水)ですので、メール、FAX、郵送で御意見をお送りください。

なお、詳細に関しては、下記のホームページをご覧ください。

[http://www.ecomo.or.jp/barrier\\_free/oto\\_pubcome.html](http://www.ecomo.or.jp/barrier_free/oto_pubcome.html)

E-mail：[k-honda@ecomoo.or.jp](mailto:k-honda@ecomoo.or.jp) FAX：03-3221-6673 住所：〒102-0083 千代田区麹町 5-7-808

中学生エコモ訪問(4月24日、6月7日)

石川県松任市立光野中学校の5人の生徒さんが、修学旅行の東京都内の班別自主プランにおいて、4月24日(水)にバリアフリーについて勉強するために、エコモに来てくれました。バリアフリーについての説明の他に、その他、駅構内におけるバリアフリーや、ノンステップバスについて説明しました。

6月7日(金)は、福井県武生市立武生第一中学校の14名の生徒さんが、同じく修学旅行でエコモを訪れてくれます。詳細は次号でお知らせします。

案内用図記号 日本タイポグラフィ年鑑2002 大賞受賞

NPO法人である日本タイポグラフィ協会より、標準案内用図記号の統一化(JIS平成14年3月20日 制定)したデザインに対して「日本タイポグラフィ年鑑2002 大賞」を受賞しました。この賞は、文字文化、文字表現芸術及びグラフィックデザインの分野で最も優れた作品に受賞されるものであります。

らくらくおでかけネット

ご存じですか。らくらくおでかけネット(交通バリアフリー情報提供システム)を本年1月から開始しております。これは、インターネットや携帯端末を使って、エレベーターの設置状況、身体障害者対応型トイレの設置状況などをバリアフリーの最適なルートが探索できます。1月の運用開始からこれまで(5月10日)、143,488件のアクセスがありました。皆さんのご意見をお待ちしております。

アドレス:(パソコン版) <http://ecomoo.mri.co.jp/rakuraku/index/>

(携帯版 = i-mode, j-sky) <http://ecomoo.mri.co.jp/rakuraku/mobile/>

(携帯版 = EZ-web) [http://ecomoo.mri.co.jp/rakuraku/mobile\\_ez/](http://ecomoo.mri.co.jp/rakuraku/mobile_ez/)

公共交通ターミナルのバリアフリー度評価に関する簡易評価マニュアルを公開

当財団において平成11年度作成した、「公共交通ターミナルのバリアフリー度評価基準」(委員長:石川忠雄元慶應義塾大学塾長)により、平成11、12、13年度の3ヶ年度にわたって、合計200駅程度の調査を行い、評価を終了いたしました(結果公開中)。今後は、地域のボランティア、市民グループ、学生の皆様などが自主的に評価に取り組み、バリアフリー推進がはかることのできるような仕組みをつくるため、これまでの基準をベースとして、新たに簡易評価基準(マニュアル)および、結果をまとめるためのインターフェースを作成致しました。

そこで今般、当財団ホームページにて、簡易評価基準(マニュアル)およびインターフェースを公開いたしますので、多くの皆様方に広く利用していただき、地域のバリアフリーを評価していただければと考えております。

詳しくは当財団ホームページ(<http://www.ecomo.or.jp/>)をご覧ください。

#### (4) 行政の活動報告

移動円滑化のために必要な旅客施設及び車両等の構造及び設備に関する基準の一部改正に関する御意見の募集について

国土交通省では、別紙のとおり、移動円滑化のために必要な旅客施設及び車両等の構造及び設備に関する基準(平成12年11月1日運輸省令・建設省令第10号)の改正を予定しております。このため、広く国民の皆様から、本改正に対する御意見を賜りたく、下記のとおり募集いたします。

皆様からいただいた御意見につきましては、最終的な決定における参考とさせていただきます。また、頂いた御意見の概要及び国土交通省の考え方については、意見募集期間終了後、当ホームページにて公開いたします。

<http://www.mlit.go.jp/kisha/pubcom/pubcomt97.html>

交通バリアフリー法基本構想策定状況

これまでの基本構想策定状況 22市町村

福岡県福岡市、北海道室蘭市、広島県呉市、千葉県千葉市、山梨県石和町、大阪府守口市、鳥取県鳥取市、新潟県亀田町、大阪府交野市、大阪府八尾市、千葉県船橋市、北海道千歳市、大阪府堺市、福岡県大牟田市、東京都荒川区、富山県小杉町、福岡県福岡市、兵庫県明石市、香川県丸亀市、石川県金沢市、北海道恵庭市、埼玉県熊谷市

4月末までに、小杉町、福岡市、明石市、丸亀市、金沢市、恵庭市、熊谷市(受理順)から基本構想を受理しました。4月末までに受理した分については、5月早々にも、プレス発表(基本構想の概要を含む)を行います。

詳細に関しては、国土交通省総合政策局交通消費者行政課のホームページをご覧ください。

[http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrier/mokuji\\_.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrier/mokuji_.html)

#### (5) 各種催し物のお知らせ

特別フォーラム in 東京

「障害者権利条約とバリアフリー社会 - どこまで来ている国連の動き、アジアから追い風を! - 」

<http://www.normanet.ne.jp/~forum/new/2002/20020419.htm>

本フォーラム組織委員会では、5月20日(月)中野サンプラザ「鳳凰の間」(東京都中野区)にて、特別フォーラム in 東京「障害者権利条約とバリアフリー社会 - どこまで来ている国連の動き、アジアから追い風を! - 」を開催いたします。

【申込先・問い合わせ】最終年記念フォーラム 事務局(日本障害者リハビリテーション協会内/担当:坪松 TEL:03-5287-2346 FAX:03-5287-2347 E-mail: [ap\\_forum@mx.normanet.ne.jp](mailto:ap_forum@mx.normanet.ne.jp)

第5回国際福祉健康産業展 ウェルフェア2002 <http://www.u-net.city.nagoya.jp/welfare/>

5月24日(金)~26日(日)10:00~17:00

ポートメッセなごや(名古屋市国際展示場)

JR 東海道線名古屋駅・名鉄バスターセンター 4F 8 番乗り場、地下鉄名古屋港駅・市バスミナ 1 番乗り場

主催 名古屋国際見本市委員会、(福)名古屋市総合リハビリテーション事業団

内容 147 社・団体福祉車両出展予定

講演会 「世界の山々をめざして」田部井淳子氏、「チャレンジドや高齢者が元気と誇りを持って働ける国に」竹中ナミ氏、「生島ヒロシ流健康術」生島ヒロシ氏

シンポジウム 「ブームになってしまったユニバーサルデザイン」、「人間へのまなざし」

問合せ先 名古屋国際見本市委員会事務局 TEL052-265-2755 FAX052-238-5657

第 25 回土木計画学研究発表会(春)大会 <http://infoshako.sk.tsukuba.ac.jp/~furuya/>  
6月5日(水)~7日(金)の3日間。名古屋大学にて開催。

連絡先: 愛知県名古屋市千種区不老町

第 5 回日本福祉のまちづくり学会 <http://www.jice.or.jp/fukushi/index.html>

8月8日(木)~10日(土)の3日間。

熊本市民会館(熊本市桜町1-3 TEL096-355-5235)にて開催。

第 6 回 DPI 世界会議 <http://homepage2.nifty.com/dpi-japan/6sapporo/sapporo1.htm>

10月15日~18日の4日間。道立体育総合センターきたえーるにて開催(札幌市)。

国際ユニバーサルデザイン会議 2002 <http://www.ud2002.org/index-j.html>

11月30日~12月4日の5日間。パシフィック横浜にて開催。

連絡先: 相鉄エージェンシー/パシフィック・コンベンション・サービス

TEL: 045-450-7003 E-mail: [info@ud2002.org](mailto:info@ud2002.org)

#### (6) その他

書籍に関して

交通エコモ財団では、現在バリアフリー関係の書籍を発行しております。ご興味のある方は、当財団のホームページをご覧ください。

[http://www.ecomo.or.jp/barrier\\_free/bari\\_f\\_index.html](http://www.ecomo.or.jp/barrier_free/bari_f_index.html)

#### 記事募集中!

現在、次号メールマガジンに掲載させて頂ける記事を募集中です。セミナーのお知らせや、活動報告、エッセイ等々何でも結構です。どしどしお寄せください。掲載をご希望の方は、メールか FAX でお送りください。

エッセイに関しましては、誠に申し訳ありませんが、掲載するか否かは編集担当に一任頂き、謝礼なし、とさせていただきます。

E-mail: [ecomomail@ecomomail.jp](mailto:ecomomail@ecomomail.jp) FAX: 03-3221-6674

#### お願い(必ずお読みください。)

##### ・転送先について

このメールマガジンを発刊してから、多くの方からお申し込みを頂いております。ありがとうございます。おそらく、お読み頂いている方から、更にその他のネットワークに転送して頂いていることがあると思います。現在、どの様な所まで、このメールマガジンをお読み頂いているかを把握したいと考えております。転送して頂いている方は、そのネットワーク、もしくは団体のお名前と人数をお教え頂ければと思います。

E-mail: [ecomomail@ecomomail.jp](mailto:ecomomail@ecomomail.jp)

##### ・送付先について

このメールマガジンをなるべく E-mail で送付させて頂きたいと思っております。アドレスをお持ちの方はご連絡ください。

## エッセイ

～ 1 + 1 は？（協働とネットワーク）～

1 + 1 は2 , これは算数の世界のこと、人の世の中は別の原理が作用するのも、と思うようになった。マンパワー、あるいは組織に置き換えてそのアウトプットで考えてみるとわかりやすい。

うる覚えの受売りから、先日、ある新聞のコラムで面白い記事を見た。迷路を作り、そこをゴキブリが何分で通り抜けるかの実験結果である。1匹なら3分で通過した。ところが2匹だと相互に知恵を出し合い、もっと早く通れるだろうと思いきや、なんと6分、3匹だとさらに時間がかかるそう。アメリカのビジネススクールの教材だそうだ。なんでも、1匹だと早くと懸命の試行錯誤を繰り返す。2匹、3匹となると、他のゴキブリの前、間違えて醜態をさらしたくない、失敗をおそれ、相互に慎重になってしまうそうだ。ゴキブリに羞恥心があるとは知らなかったが、ビジネススクールの教材、ということで見ると、組織が硬直化すると人間でも同じらしい。1 + 1 は下手をするとマイナスになる暗黒の世界だ。

一方、(人間には)別の世界もある。私どもはネットワークの支援と協働のもと、昨年度、全国10箇所で開催した交通バリアフリー推進セミナーを実施した。これは、昨年春ごろ、日身連の会長さんから市町村の基本構想づくりが進まない、なんとか促進の手段はないのか、と相談を受けたことに始まる。ついて、土木学会高齢者交通小委員会や福祉のまちづくり学会の先生方から、基本構想作りは下手をすると作文作りに終わる、身体に障害のある方々をはじめ利用者の実質的な参画のもと「志を高く」持った活きた計画・プランにするため、関係者を巻き込んだ実践的なセミナーをやりたいが・・・という相談がもちこまれた。3者の協働からセミナーが具体化し、実現に動いた。3者ばらばらなら出来なかったものが出来たのだから、0から+へ、(無限大)の道が開けたことになる。実際には、予算もない中での企画だったので、会場の提供、講師、パネラーの引き受け、参加費を自弁してのセミナーへの参画等、多くの人・団体の支援があって初めて実現できたものだ。

3人寄れば文殊の知恵、という。同じ志を持ったいろいろの人・団体それぞれの知恵や知識、自分たちで出来る範囲内の力を出し合えば、単独では出来なかったことが出来るようになり、さらに「志が膨らんでいく」、あるいは新しい発想、企画が生まれてくる可能性が開けてくる。我が輩は猫、間違い、人間である。ゴキブリの世界ではなく(ゴキブリ亭主という声もある?)、願わくば、(文殊)菩薩の世界の住人になりたいものだ。(交通エコモ財団理事長 金丸純一)